

平成26年度 関東東海北陸農業試験研究推進会議
関東東海・土壌肥料部会秋季研究会 開催要領

関東東海北陸農業試験研究推進会議 関東東海土壌肥料部会長
中央農業総合研究センター 土壌肥料研究領域長
加藤 直人

1. 趣旨

これまで、土壌や根圏から植物の生育や養分吸収の促進、耐病性の付与など有用な性質を持つ微生物が分離され、資材として作物生産に利用されてきた。一方、植物体内に生息する微生物（エンドファイト）については、生態学的解析や機能評価が進みつつあるものの、農業利用に向けた取り組みは緒についたばかりである。そこで、エンドファイトの作物生産への利用の現状および技術的な問題点などについて検討する。

2. 開催日時： 平成26年10月2日（木）13時～10月3日（金）15時00分

3. 開催場所： 研究会（1日目）岐阜市文化産業交流センターじゅうろくプラザ
〒500-8856 岐阜県岐阜市橋本町1丁目10番地11
現地検討会（2日目、予定）海津市歴史民俗資料館（地域農業・トマト独立ポット耕
の説明）、岐阜県就農支援センター、岐阜市北部プラント

4. 検討事項：「エンドファイト（植物内生菌）を利用した作物生産技術」

- 1) 堆肥投入とエンドファイト利用はどう違うのか？－森林生態系から学ぶ新しい作物栽培法
（茨城大学 成澤 才彦）
- 2) 水稻栽培への細菌エンドファイト実用化技術開発
（株）前川製作所 伊沢 剛）
- 3) 麦角菌科の糸状菌エンドファイト
－ 種子の一部に化身する特異な共生糸状菌の特徴とその農業利用の試み
（東北農研センター 菅原 幸哉）
- 4) バイオ肥料を利用した水稻の増収減肥栽培技術の実用化
（東京農工大学 横山 正）
- 5) 総合討議

5. 参集範囲

関東東海地域各都県行政・普及・試験研究機関、農林水産省生産局、農林水産省消費・安全局、農林水産技術会議事務局、関東農政局、東海農政局、大学、民間企業、(独)農林水産消費安全技術センター、(独)農業環境技術研究所、(独)農研機構、その他部会長が認めるもの

6. 連絡先

(独)農研機構中央農業総合研究センター 土壌肥料研究領域 主任研究員 木村 秀也
(TEL : 029-838-8527、E-mail : hidek@affrc.go.jp)
岐阜県農業技術センター 環境部長 棚橋 寿彦
(TEL : 058-239-3135、E-mail : tanahashi-toshihiko@pref.gifu.lg.jp)

7. その他

参加・宿泊申込み等については、岐阜県農業技術センターより別途連絡する。